

秋田大学の教育・研究の取り組みや、常設展示として成田為三・南木佳士など著名な卒業生の業績や作品等を展示・紹介。また、学生や教職員による企画展も開催しています。

〈入館案内〉

- 開館時間／10:30～17:00
- 開館日／平日のみ(入館無料)



インフォメーションセンター外観



オープンスペースの様子

〈主な常設展示〉



なりた ためぞう
成田 為三

秋田県師範学校(教育文化学部の前身)出身で、「浜辺の歌」「秋田県民歌」など、300曲以上の優れた作品を世に残しています。本格的に作曲の勉強をしたのは、秋田県師範学校時代であることが研究により明らかにされています。



なぎ けいし
南木 佳士

秋田大学医学部の第二期生である彼は、長野県佐久総合病院で医師を続けながら、作家活動を行っています。作品には、新設間もない秋田大学医学部を舞台に、医学部在学の4人の主人公が抱える悩みや葛藤などの青春群像を描いた「医学生」や、第100回芥川賞を受賞した「ダイヤモンドダスト」等があります。



まつだ ときこ
松田 解子

秋田県女子師範学校(教育文化部の前身)出身の小説家で、数多くの作品を世に残しています。1966年、実母をモデルに荒川鉦山に生きた人々を描いた長編「おりん口伝」の連載を始め、この作品で第8回田村俊子賞(1968年)等を受賞しました。



あべ まさたつ
阿部 雅龍

工学資源学部出身の「夢を追う男」冒険家として活躍。大学在学時から自転車での南米縦断やアマゾン川いかだ下りなど、数々の冒険を成し遂げてきました。現在、2017年の南極大陸単独走行1,500kmを目標に活動を続けています。

〈主な企画展〉



OBIによる講演会



学生による企画展



サークル企画展